

Futurability Initiatives



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

趣旨説明

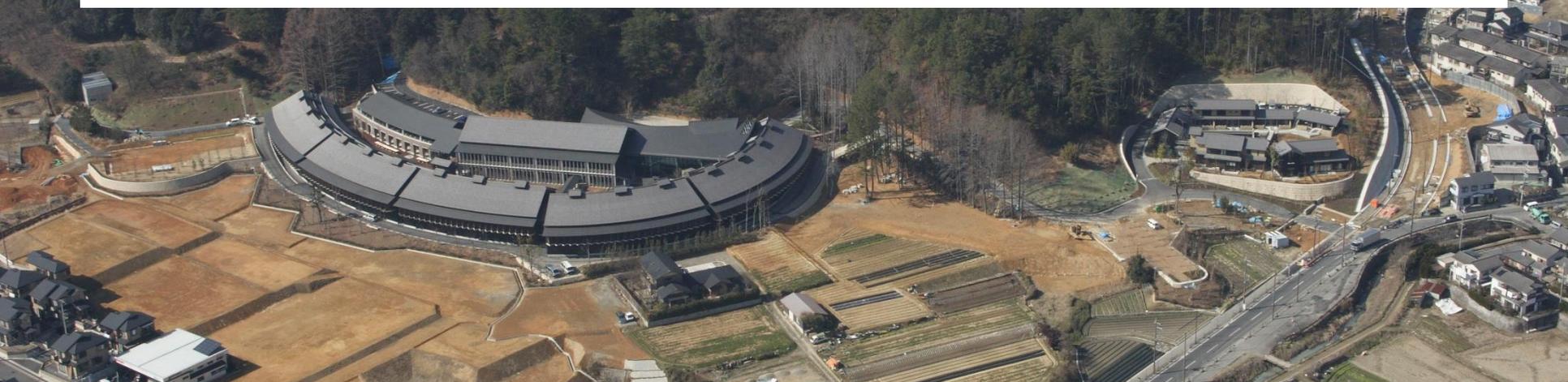
窪田 順平

総合地球環境学研究所

総合地球環境学研究所(地球研)とは？

2001年4月 地球環境問題への新しいアプローチを目指して、
文部科学省・大学共同利用機関として創設

地球環境問題の根源は、自然に挑み支配しようとしてきた人間の
生き方、いかえれば、ことばの最も広い意味における人間の
「文化」の問題であるという基本認識。

- 
- ✓ 学際・超学際研究
 - ✓ 任期制をベースにしたプロジェクト研究方式
 - ✓ 国内外の大学・研究機関等との国際共同研究

第2期中期目標・中期計画期間(2010～2016)における 地球研の取り組み

- 人間と自然の相互作用環の解明(認識科学)
- 問題解決に向けた未来可能な社会のデザイン(設計科学)

人間－自然相互作用環

地球環境問題において解明すべき実態

未来可能性

地球環境問題において追求すべき目標

現状維持・現状の是認のニュアンスが強い「持続可能性」ではなく、究極目的として人間のwell-beingの向上を見定めて、「あるべき姿」を提示し、その実現手段を考える

社会の多様なステークホルダーとの協働による
未来可能な社会の探究(超学際研究)



多様な自然・文化複合に基づく
未来可能な社会への転換
—地球環境学の新たな挑戦—

- 地球研第2期における超学際研究の到達点
- 地球研第3期の構想と今後の地球環境研究について、多様なステークホルダーと共に考える

第1部 基調講演

イラン・チャバイ

(持続可能性高等研究所 地球持続可能性学上席アドバイザー)

ステークホルダーのため、ステークホルダーと
共に持続可能な未来への道筋を研究する

第2部

未来可能な社会に向けた超学際研究

エリアケイパビリティー — 地域資源活用のすすめ

石川 智士 (総合地球環境学研究所・准教授)

統合的水資源管理のための「水土の知」を設える

ドロテア・アグネス・ランピセラ (総合地球環境学研究所・准教授)

地域環境知形成による新たなコモンズの創生と持続可能な管理

佐藤 哲 (総合地球環境学研究所・教授)



第3部

パネルディスカッション：未来可能な社会への転換に向けて

➤ 地球研第3期構想 谷口真人(地球研・副所長)

➤ パネルディスカッション

イラン・チャバイ(持続可能性研究所・上席フェロー)

傘木 宏夫(NPO地域づくり工房代表理事)

井田 徹治(共同通信社・編集委員兼論説委員)

安岡 善文(東京大学名誉教授)

安成 哲三(地球研・所長)

司会：佐藤 哲(地球研・教授)

